

【件名】	善福寺川整備工事（その108）	【事務所名】	第三建設事務所	
【工事場所】	杉並区大宮二丁目地内から同区成田西一丁目地内	【受注者名】	真柄建設株式会社	
【工期】	令和6年2月21日から令和7年2月27日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 山崎 茂	

【工事概要】

本工事 工事延長 L=76.9m
 河川土工 一式、 既製杭工（鋼管杭圧入工） 47本、 管理用通路工 一式
 構造物撤去工 一式、 仮設工 一式
 附帯工事（御供米橋）
 コンクリート橋上部 一式、 橋梁付属物工 一式 橋梁下部工 一式
 附帯工事（大成橋）
 橋梁部土工 一式、 橋梁下部工/既製杭工（鋼管杭圧入工） 19本
 橋梁付属物工 一式 旧橋撤去工 一式

【表彰理由】（※発注者側評価）

先行工事から大成橋迂回路を引継ぎ、交通管理者や道路管理者と調整を行い、予定通り迂回路を事故なく開放することができた。

また、本工事及び大成橋撤去の重複する関連工事及び企業者工事の工程調整を行い、大成橋工事を工期内で完了することができた。

完了検査時には、現場状況を3D映像を活用し検査員に説明し、出来形管理、品質管理も適正に資料をまとめてあり、検査員への質疑応答も的確な対応を行った。



施工前



施工後

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
右岸側の一般家屋が非常に近接していたため、振動騒音対策、レーザーバリア等で接触防止対策を実施した。また、住民への挨拶と声掛けを密に行い工事への苦情を低減させた。
- ◇ 特に工夫した点
仮設鋼矢板工法の事前承諾変更を提案し工程遅延リスクを回避した。また、鋼管杭と橋台撤去の作業ヤードを工夫し並行作業を可能にした。結果、工期内完成を無災害で達成した。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
ゲリラ豪雨や既設橋台撤去数量の増など多くのトラブルがあったが、工期内完成を目標に全員で知恵を出し合いトラブルを乗り越えた。結果、工期内完成で大きな達成感を得られた。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

社会インフラの整備は国民の命と生活を守る、とても大切な仕事です。色々な工事を経験し建設を通じて、社会に貢献するモノづくりの楽しさを発信していきたい。



鋼管杭圧入状況写真